

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野産ホップ生産と麦芽栽培による遊休荒廃農地活用事業
事業主体 (連絡先)	安曇野産ホップを生産する会 安曇野市堀金烏川5699-1
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,382,207円 (うち支援金: 1,593,000円)

事業内容

遊休荒廃農地解消策と生産会員を増やしながら生産者育成を目的として、ビールの原料となるホップや大麦の栽培復活地産化を目指すため、圃場の基盤整備と試験栽培を実施。

- ・ホップ棒苗の定植(約200株、参加者約30名、約10a)
- ・生産技術指導講習の開催(4月、6月、H29年3月)
- ・ホップ棚設置工事(6月下旬完了)
- ・防除等作業～収穫作業(約20名の作業)
- ・残留農薬検査～試作用ホップ納品
- ・ホップ棒苗の追加定植(約100株、参加者約20名)
- ・二条大麦の秋播試験栽培(約8a)



【本年度定植したホップの初収穫状況】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①当初3年間で乾燥ホップ20kgの生産目標を掲げ、本年度は定植初年度のため、収穫8kg、乾燥約2kgに留まった。引き続き棒苗の本数増を図り安定収穫とされる3年の間に、生産技術の取得を進め、持続的な事業体制の構築に向け活動を継続する。
- ②ホップ生産に加え、寒冷地では不向きとされる二条大麦について試験栽培を始め、当初耕作面積目標とした10aから18a広げ、荒廃農地の解消を実現できた。
- ③本会員数の変更はなかったが、関連する企業等との連携や協力が構築できた。継続して賛同する会員を増やし、引き続き関係者との連携を深めていく。

【目標・ねらい】

- ①ホップ生産量の増加
- ②有休荒廃農地活用面積の増加
- ③本会員数の増加

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度より構築できた関係者との連携を大切にしながら、栽培技術や作業効率の向上を図りつつ会員の増加を目指し、地元産のホップや麦芽にこだわった商品開発を事業者と連携しながら進めることが、農作物の収量増にも繋がり産業振興と有休荒廃農地解消策にも繋がるため、この事業を通じ、今後は交流人口の拡大にも広げた取り組みも行い、地域内活性に繋げていきたい。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・生産量は、生産実績から3カ年を見据えた目標で進めたい。
- ・荒廃農地は試験栽培の取組により増やせたが、今後の検証結果により次年度さらに拡大したい。
- ・会員数は継続して勧誘したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある